

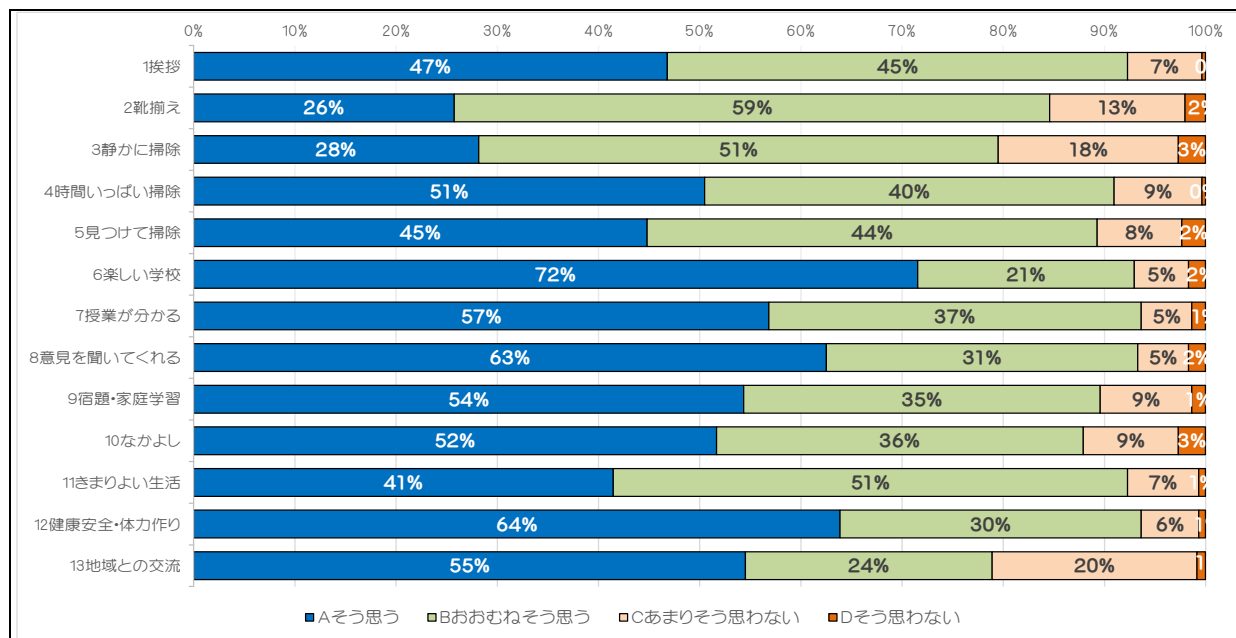
令和2年度 中佐都小学校学校評価報告書

令和3年1月23日

アンケート実施日：令和2年11月2日～7日

回収率：児童97.6% 保護者94.8% 職員100% 学校関係者11名

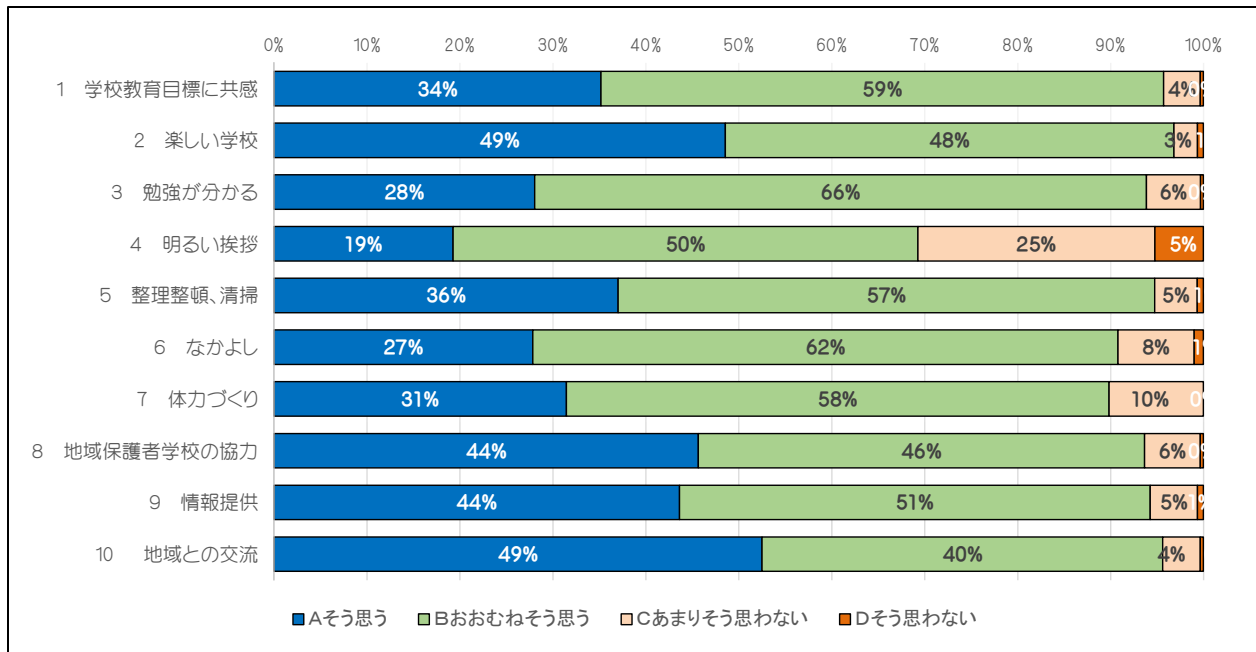
<グラフ1: 令和2年度 児童(全校)のアンケート結果>



【児童の結果の考察】

- 全体的に見て、昨年度より項目10「なかよし」と項目11「きまりよい生活」のCと回答した児童が減り、どの項目もA・Bの合計で見るとよい評価になっている。
- 項目3「静かに清掃」については、昨年より良い方に伸びてきている。Aの子が6%増え、Dの子が9%減っている。特に4「時間いっぱい掃除」と「5見つけて掃除」のCと回答した児童が少なくなり、前向きに掃除に取り組んでいる様子が見える。
- 項目13「地域との交流」では、中佐都小CS応援団の方や育成会の方との連携を行っているが、今年度は、コロナ禍の中、交流の場が減っていることが、Cの子を多くしている要因になっている。しかし、今後も地域の方との連携は大切に考えていきたい。
- 項目9「宿題・家庭学習」でC・Dと答えている子が昨年より減っている。4月・5月の自宅待機中、家庭での学習を多く出したが、やり方等を含め丁寧に指導していた結果、前向きに取り組めていったと考えられる。項目7の「授業が分かる」とも関連していると考えられるので、学習への興味をもたせ、取り組めるようにするための手だての工夫が必要である。
- 項目10「なかよし」は、Aが増えCが減っている。友達を大切に自分の居場所を作れている子が増えている分、Dの子が若干増えているのに注視していかなくてはならない。こういった子への個別の対応を配慮をしていく必要がある。
- 全体的に見れば、ほぼ80%を超えているが、あいさつや清掃への取り組みは今後も大切に育てていきたい。また、来年度地域との交流がどこまで元に戻るか未定としても地域とのつながりを大切に中佐都小学校でありたい。
- 自由記述から
学校の自慢では、カッテ石やプラネタリウムなど様々な内容が書かれてる中、遊具や友達との仲のよい関係を記述している子が多く見られる。中佐都小学校という環境を愛し、仲間を思う優しい校風が見て感じられる。また、うれしかったことの中に「ほめられた。」「良いところを認めてもらえた。」など教師からかけられる声の大きな励みになっていることがよく分かる。こういった温かい寄り添いが、子どもの自己肯定感を高めていくことにつながっていくので、続けていきたい。その反面、「お説教がいやだった」「人それぞれの扱いが違う」など高学年から出ている声は、真摯に受け止め我々の指導の一助としていきたい。むしろこういった意見を書いてくれることこそ、開かれた学級であり学校であると考えたい。子どもの声なき声これからも注意深く心を傾けていく必要があると感じている。

< グラフ 2 : 令和 2 年度 保護者 (全校) のアンケート結果 >



【保護者の結果の考察】

- 特に評価がよい (A + B) のは項目 1 「学校教育目標に共感」(85%)、項目 2 「楽しい学校」(87%)、項目 9 「情報提供」(87%) 等である。また全体を見ても 10 項目中 9 項目までもが 8 割以上の満足度を得ている。このことから、新型コロナの影響でむしろ学校に対して期待と信頼を寄せ、学校教育に受容的、協力的に関わろうとする保護者が多数いてくださることを心強く受けとめている。
- 唯一 80% に満たないのが「4 明るい挨拶」(62%) であるが、昨年よりも低下している。この項目は毎年課題となっている項目である。コロナ禍でさらに挨拶の声が減ってしまった感は否めないが、保護者の挨拶に対する期待度の高さとも受け取れる。これからは根気強く家庭や地域と連携し、あいさつに力を注ぎ改善を目指していきたい。
- 学校行事に対する保護者の意見として顕著なのは、今年度中止や縮小せざるを得ない行事は多かったが、よい見直しの機会となり、行事を精選することで、他のことに目を向けていくきっかけとなった、というものである。特に運動会の半日開催の中で、貴重な種目に全力で向かう子どもたちの姿を称賛していただいた。(高学年のフラッグ、補欠選手のリレー等) またキャンプや修学旅行、授業参観等で工夫を凝らし実現できよかった、PTA 役員の負担が減り、子どもと過ごす時間が増えありがたかったという声もあった。
- 一方で音楽会、マラソン大会等、子どもたちの成果を発表できる場をもう少し残してほしいというご意見もいただいた。また逆にそりスキー教室は大丈夫か(バスでの輸送)という意見もある。これからは感染予防対策を十分に考えながら、健康と安全を第一にし、無理のない計画で行事を工夫していきたい。
- 子どものおい所を認め褒めてくださる、また、悪いことに対しては毅然とした態度できちんと叱ってくれるのがありがたいというご意見をいただいた。今は子どもの個性も多様で対応の難しさもあるが、学校でしつけることをきちんと教えてほしいという要望もある。また宿題や居残り学習に対して、教育熱心さはわかるが、どこまでを到達目標にしているのか、その質量を見直してほしいというご意見もいただいた。これらの保護者からの声に耳を傾け、家庭と連携しながら子どもたちを健やかに育てていきたい。

【記述欄から】

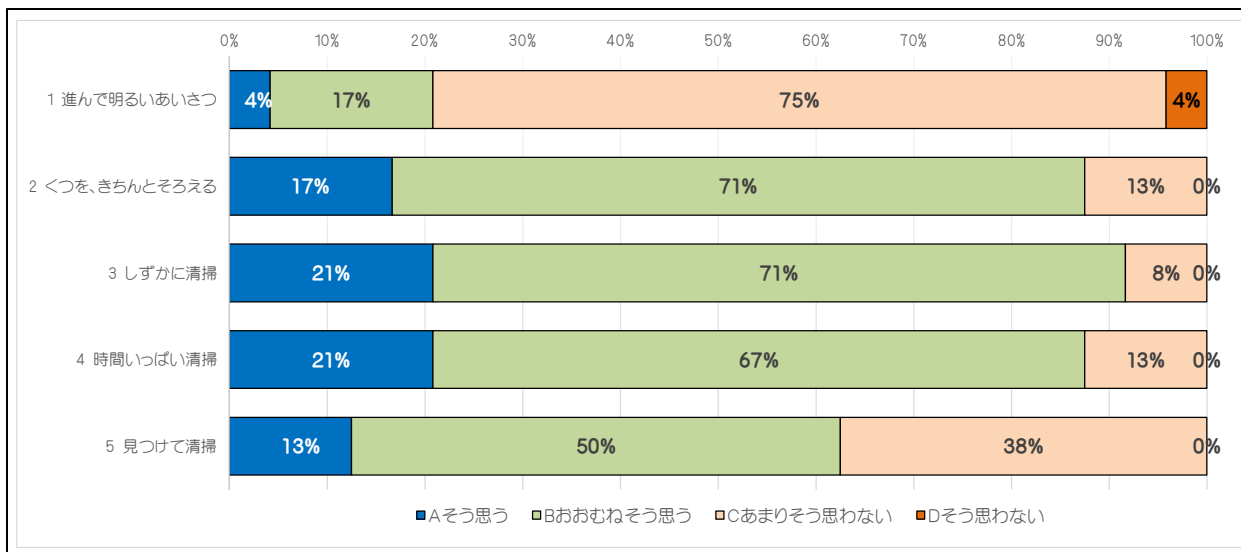
< 低学年 >

- 連絡帳などで、子どもをよく見てくださっていることがわかり、毎日安心して送り出している。
- 宿題についてあまりよくわかっていないことが多い。もう少しわかりやすく出してほしい。

< 高学年 >

- 今年度の行事縮小や中止を通して、これを機にやめても良いこと、PTA の負担軽減など見直しても良いと思う。
- コロナ禍でも様々な工夫をし、行事を実施してもらえよかった。どのような形でもよいので、子ども達の成果が発表できる場を作してほしい。

< グラフ3：令和2年度 職員のアンケート結果 > ※児童の設問1～5に該当する項目のみ

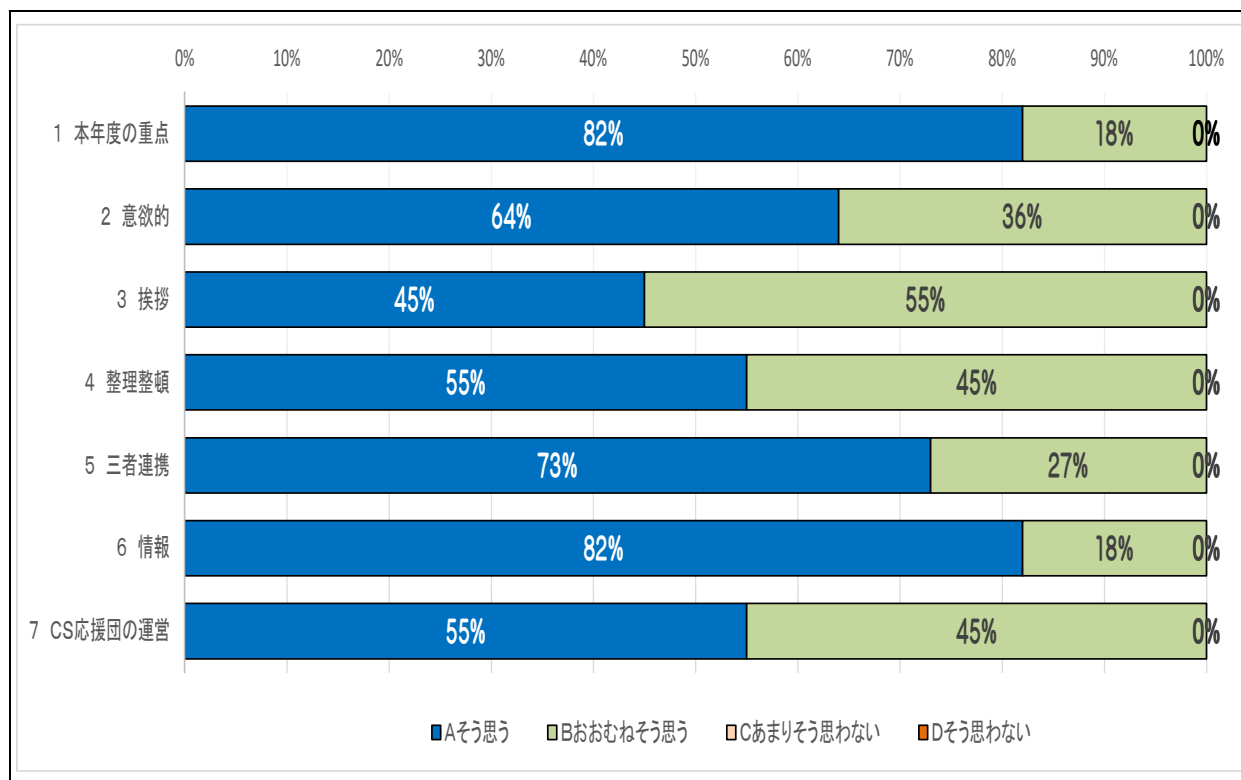


【職員の結果の考察】

- 児童会と連携した取り組みを続けてきたことから、子どもたちの中で「くつをそろえた方がよい」という意識が生まれ、チェックする態勢が芽生えている。今後も靴をそろえていくよう取り組みを継続していきたい。
- 生活委員会で「あいさつ運動」を設定したことによりあいさつをするという児童の意識は高まってきたが、自分から進んでとなるとまだまだ不十分であると感じている。今後とも進んであいさつができるように教師と児童会が連携した活動を継続し、あいさつの響き合う学校にしていきたい。
- 清掃は、日々の積み重ねであるので、個人差がとても大きいと思われるが、全体を通してしじみ清掃がよくできていると思われる。姉妹学級清掃などお互いの掃除の良さを見合うことで、よりよい清掃の仕方に気づけているように思う。

< グラフ4：令和2年度 学校関係者のアンケート結果 >

※学校関係者：中佐都小CS応援団推進委員、運営委員、学習支援ボランティア



【自由記述欄から】

- 学校全体が活気に満ちていました。
- 心配された運動会は、先生方の創意工夫により限られた時間内におこなわれましたが、大変心に残るよい運動会でした。リレー選手の補欠の子ども達にも光が当たり活躍する姿が印象的でした。
- 今年度は、コロナの影響であらゆる行事、学校運営等に大きな支障をきたしています。その中でなんとか良い方向へと先生方のご尽力に敬意を表します。しばらくはこの状況が続くと思われませんが、知恵と工夫で一丸となって頑張っていたいただきたいと思います。

<まとめ>

- 課題の見られるものについては、令和3年度の学校運営に向けてプロジェクトを組織し、具体的な取り組みを決めだしていく。自由記述欄にも多様なご意見をいただいた。プロジェクトで検討し改善につなげていきたいと思う。
- ここ数年、児童はあいさつについてはできていると思っているが、保護者や地域の方・職員の評価は低い状態が続いている。今後も引き続き、児童会と連携をとりながら、あいさつは言葉だけでなく、姿勢や声の大きさ、表情などいろいろな要素をとめない、相手に伝わるといふことを具体的に指導していきたいと思う。また、自分から先にあいさつをするという習慣を身につけさせたい。学校・保護者・地域で「大人から声をかける」「大人同士があいさつし合う」等に取り組み、子どもたちにあいさつの手本を見せることも考えていきたい。
- 「しじみ清掃」の実践を通し、児童が身の回りの整理整頓に心がける力を育てるとともに、学校全体の環境を見直し、安全で機能的かつ美しい環境をつくるよう更に努力してく。
- 児童の気持ちに寄り添った指導を心がけ、わかる授業・楽しい学校づくりに向けて、更に研鑽していく。

<プロジェクト>

No.	プロジェクト名	内 容
1	学力・体力向上PJ	<ul style="list-style-type: none"> ① CRT、発達検査等各種調査の結果等に基づき本校の課題を明確にする。体力の実態を明らかにする。 ② 諸検査の活用法検討(Q-U等) ③ 全校体制で取り組む学力、体力向上の柱と具体的な方策を決め出す(通年を通しての全校運動の計画等) ④ 運動の縦のつながり・学年に応じた運動量の検討 ⑤ 重点研究の教科、内容、推進計画を決める ⑥ 信州型ユニバーサルデザイン
2	新しい時代に向けた学校づくりPJ	<ul style="list-style-type: none"> ① 教育計画の見直し 年間指導計画の作成(健康教育年間指導計画・食に関する年間指導計画) 時数計算、評価 ② 行事等の見直し ③ 今後のコロナ対応策について 新生活様式
3	児童支援PJ	<ul style="list-style-type: none"> ① 新入学児童への支援・幼保との連携で実態把握 ② 支援が必要な児童全員の個別の指導計画作成 ③ 学習室、ひまわり学級の経営の重点・方向について ④ 特別支援学級とインクルーシブ教育(学校としての方向性) ⑤ 支援が必要な児童の資料整備(データ・紙ファイル) ⑥ 校内支援会議、支援教材 ⑦ 特別支援学級への応援態勢について
4	環境づくりPJ	<ul style="list-style-type: none"> ① 「(児童保護者アンケートから決め出す)」ができる子どもを目指す具体的な手立てを決め出す。 ② 超過勤務時間の縮減目標作成、業務改善の提案 ③ GIGAスクール構想にかかわって(職員研修・運営等について) ④ 廊下の安全歩行について ⑤ 清掃ロッカーの使い方について ⑥ 学校内の危険箇所の洗い出し